

広報あがけ

10

■発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集/総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,121(+ 6) 男4,804(+ 2) 女5,317(+ 4) 世帯合計3,437(+ 0) 63年8月末日現在()内は前月との比較です

町長が敬老訪問

9月15日(敬老の日)は
最高齢者を敬老訪問、
(96歳)

▲皆川 ヨ子さん(常福)



▲皆川 トモさん(堀田)



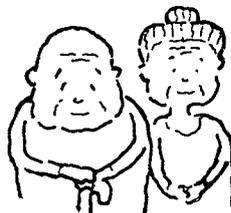
▲山尾 カツさん(中町団地)

お元気で

いついつまでも

赤池町敬老会

10月15日11時から
場所 / 町民会館
おまちしてま〜す!!



老人ホームの敬老会



昭和62年度決算状況

(単年度収支は黒字)

普通会計赤字額: 2億1,992万円(繰越額含む)

※普通会計の表については決算統計から掲載しました。

普通会計		普通会計	
一般会計+住宅資金等貸付事業特別会計		一般会計+住宅資金等貸付事業特別会計	
はいつてきたお金 43億994万円	つかったお金 45億2,927万円	地方交付税	建設事業費 13億3,890万円(29.6)
18億6,062万円(43.2)	6億7,195万円(15.6)	国庫支出金	公債費 10億8,295万円(23.9)
5億4,850万円(12.7)	4億663万円(9.4)	地方債	人件費 6億4,378万円(14.2)
3億3,004万円(7.6)	1億8,523万円(4.3)	県支出金	出資金・貸付金 2億4,666万円(5.4)
1億8,523万円(4.3)	1億2,902万円(3.0)	税収入	扶助費 3億4,225万円(7.6)
1億2,902万円(3.0)	3,900万円(0.9)	諸収入	補助費等 2億4,564万円(5.4)
3,900万円(0.9)	1億3,895万円(3.3)	分担金・負担金	物件費 2億7,804万円(6.1)
1億3,895万円(3.3)		財産収入	前年度繰上充用金 2億8,014万円(6.2)
		その他	その他 7,091万円(1.6)

()は全体の割合、単位:%

議会だより



昭和六十三年第八回九月定例町議会が、九月二十二日から二十九日まで八日間の会期で行われ、昭和六十二年赤池町一般会計決算や、町立病院などの各特別会計決算の認定議案や、赤池町民憲章の制定の議案などが上程され、活発な審議がなされました。

- 内容は次のとおりです。
- ◎昭和六十二年一般会計歳入歳出決算
 - ◎昭和六十二年国民健康保険事業業勘定特別会計歳入歳出決算
 - ◎昭和六十二年住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
 - ◎昭和六十二年老人保健特別会計歳入歳出決算
 - ◎昭和六十二年町立病院事業特別会計歳入歳出決算
 - ◎昭和六十二年度上水道事業特別会計歳入歳出決算
- 以上六つの決算については別表のとおりです。

昭和62年度各特別会計の決算状況 (単位:千円)

区分	歳入	歳出	差引額	累積額
町立病院事業	653,414	650,289	3,125	△419,899
国民健康保険事業	519,149	515,244	3,905	
上水道事業	189,910	183,168	6,742	△343,567
住宅新築資金等貸付事業	354,074	411,457	△57,383	
老人保健事業	771,492	778,119	△6,627	

◎昭和六十三年一般会計補正予算 算一億九千二百六十一万四千円を追加補正し、予算総額が四十三億七千二百五十九千円となりました。内容の主なものは、五十周年事業の式典関係諸経費、開就業就労者の吸収人員増及び用地費等の経費、農道改良、かんがい施設、いちごハウス施設工事等経費集会所建設の経費、道路鉦害復旧工事の経費などです。

◎昭和六十三年国民健康保険事業業勘定特別会計補正予算 五百二十六千円を追加し予算総額が五億七千六百三十千円となりました。内容は、退職者医療交付金の還付金などです。

信号機ができました!

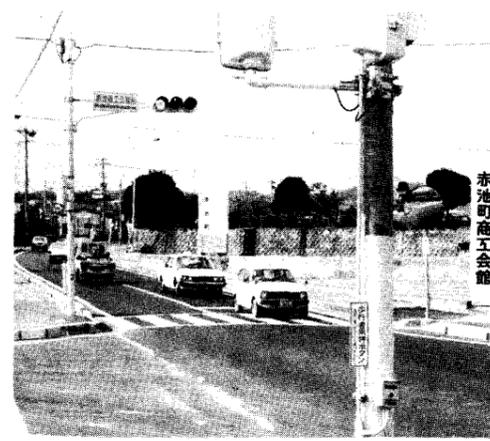
みなさんもうすでに御存知でしょうが、赤池町商工会館前の交差点に信号機が設置され9月13日から作動しています。

この交差点は、町内でも事故の多発している所で、1日も早い信号の設置が望まれました。

町や、議会議員のみなさん方で再三にわたり、田川警察署や土木事務所に要望書を提出、陳情をくり返していました。

でも、信号がついたからと言って、無理な追いこし、スピードの出過ぎは事故のもとです。

交通ルールを守って安全運転をお願いします。



岡国が石炭・石油特別会計打ち切り

- ◎赤池町民憲章の制定と町民の方より広く一般公募された作品をもとに、起草委員会よりの答申を受け、内容を尊重した上で、町議会の議決を求めたものです。
- ◎赤池町町花、町木の指定
- ◎赤池町非常勤消防団員に係る退職報酬金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定と消防団員等公務災害補償等共済基金法施行令の一部が改正されたことにより、町の条例を改正するものです。
- ◎赤池町非常勤消防団員に係る退職報酬金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定と消防団員等公務災害補償等共済基金法施行令の一部が改正されたことにより、町の条例を改正するものです。
- ◎赤池町非常勤消防団員に係る退職報酬金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定と消防団員等公務災害補償等共済基金法施行令の一部が改正されたことにより、町の条例を改正するものです。

りの方針を出しているが、町はどのような対策を考えているのか。昭和六十四年度にすぐ国の予算が激減するとは考えられませんがこのことは重大な問題でありますので、全国的な規模で、国に働きかけていきたいと思えます。

国民健康保険に関する国から指定を受け(国が指定している基準医療費より赤池町の医療費が越えているため)国保事業安定化計画を作成しなければならぬように、基盤医療費を引き下げられるのか。答)担当課の方で、医療費の分析作業を実施中であり、その資料により、議会のみなさんや、国保運営審議会などで、審議をくり返していきます。その上で、これからの高齢化社会に向けて、将来的な国

斑蝥(斑猫)の幼虫を釣る

はんみょう

行政相談週間

●10月16日~22日●

—合同巡回相談—

10月20日(木)

10時から15時まで

全身を多彩な色で美しく彩られた斑蝥が己より大きな青虫をその長い肢で重たげにしっかり抱えて蜜柑の木の梢を掠めるように飛び去って行った気怠い夏の昼下がりにある。T君方の屋敷内の蜜柑の植込みと古い土蔵との空間の拾

程の赤土の地表に点々と沢山縦穴を掘り、この中で斑蝥の幼虫が地面すれすれに頭を上げて獲物を虎視眈々と狙っている。

穴に近づくと一斉にサッと穴の中に頭を沈め離れると又一斉に頭を上げる。エノコロ草(猫ジャラシとも云う)の穂先を取り除いた茎の柔かい部分を下にして、ソックと穴に差し込んでおくと、間もなく反応があり、茎がクルリクルリと廻り始める。透さず茎をさつと引き抜くと末端に斑蝥の幼虫が喰い付いてあがって来る。釣り落すと、あわてて、もとの穴に逃げ込んでしまふ其の動作の素早いこと、グロテスクな格好をした蟻地獄の主である薄羽蜂の幼虫には及ばないがその格好は、可成り珍妙である。彼方此方の穴の中に茎を差し込んで置くと一斉に動き出して茎を抜くのに大忙しである。

今日もT君方の裏の土蔵の前の空地では蟬捕りに飽きた例の悪戯鬼共が地面に座り込んで斑蝥の幼虫釣りに無我夢中である。ふと見上げると、露草色した綺麗な大空に鶯が一羽悠々と孤を描いて舞っている。T君が鬼籍入り再び訪れることなく七拾有余年を閑した今病を得、座る事の出来得ぬま、ひとり寂然とアームチェアに寄りそえば、あの頃のこと、なつかしく憶ばれ限りなく胸疼く。

木の日 8日(林野庁)

中小企業退職金共済制度加入促進月間 1日~31日(労働省)

みんなが歌う心のふるさと

河村光陽の88童謡まつりin赤池



本町出身の童謡作曲家、河村光陽氏をたたえ、共に町制50周年事業として10月29日、30日に同和対策中央研修所で「河村光陽88童謡まつりin赤池」を開催します。

今、童謡は全国的なブームです。赤池町は「童謡の父」といわれる河村光陽氏の生誕の地であり、童謡のふるさととして町おこしを計画しています。また、新しい童謡創作コンクールで福岡県内を対象に「子どもの歌」を募集しました。応募作品2百70点が集まり、この中から10点が優秀作品として選考されますが、選考委員には、審査委員長の福教大名誉教授藤森憲三先生をはじめ日本童謡協会会長の中田喜直先生、光陽氏の子女先生より、ご指導していただくプログラムも計画されている。展示は一般の方も受け付けますので、是非ご出品して下さい。

秋の祭典

文化祭日程 決まる

錦秋の祭典、町文化祭は9月19日に赤池町民文化祭実行委員会（会長・日野喜美男町長）が開かれ、11月3日から11月6日までの4日間で開催される事が決定した。

特に本年は町制施行50周年であり、催しについても、文化団体協議会を中心に芸術発表大会、作品展、特に50周年共催事業、我が町よかとこフェア、が商工祭とタイアップし、50周年をさらに盛り上げる行事内容となった。又、展示会場に於いても紙人形づくり、折り紙づくり、生花、踊り等の実演コーナーを設け、広く町民に各

◆'88 文化祭日程◆	
期日	内容
11月3日(木)	展示会、芸術発表Ⅰ、囲碁大会
11月4日(金)	〃
11月5日(土)	〃、ヤングバンドフェスティバル
11月6日(日)	芸術発表Ⅱ、少年将棋大会、実演会、茶会

河村順子先生等、日本を代表される諸先生7名で厳正な審査が行なわれました。童謡まつりは、29日（前日祭）が童謡フェスティバル的に町内の合唱団や近隣の合唱団が、光陽ヒットメロデーと称し童謡の数々を歌います。最後に参加者全員でカモメの水兵さんを合唱する予定です。30日（当日祭）は50周年のセレモニーとプロ歌手の小牧まり、宮内良の2人に花を添えてもらう計画です。尚この日に入選作品の表彰式も行ないます。赤池の美しい自然と風土を生かし童謡を通して心豊かな町づくりを目指したいものです。



長谷川さん 異体で優勝!! 「躍動・創造・交流」をテーマに第31回県民体育大会（会長奥田八二）が、筑豊地区2市7町村で9月18・19日に開催された。

本町でもバドミントン競技が行なわれ、選手を代表して中村良之君（上の原）の選手宣誓で競技を

人の心の豊かさをとめて

「歯に衣着せぬ」会話の中で、自分でも驚くほど、口にする言葉がある。自分ではなかつた後で反省のうちに、常には謙虚であらねば……。

開始した。特に、陸上競技に活躍した長谷川純一さん（車道）の活躍は目ざましく、百m準優勝、走幅跳優勝を獲得した。また、県体初出場の末継智恵さん（下町）も走幅跳で準優勝受賞した。郡体終了と同時に強化練習をやった本町選手団27名は、他郡市を競い合い、友好の輪を広げた。ソフトボール連盟杯 ナイター18支チームが獲得!! 施設の完成を待って、初めてのナイトゲームで開催されていたソフト連盟杯（会長 穴井一巳）の前期リーグ戦も8月25日をもって終了した。11チーム参加で行なわれたリーグ戦、総合的に勝る18支チームが10勝1敗の成績で優勝した。8区竹の子子ども会 9月23日 下田川ソフトで優勝 日、金田中Gで下田川親善スポーツ大会が開催。男子はソフト、女子はフットベースボールが行なわれ、男子は各チームを圧倒し優勝、女子は善戦はしたものの、各チームのレベルが高く、敢闘賞に終わった。

図書室だより

10月27日から11月9日迄『昔を読む今を読む未来を読む』というテーマで全国的に読書週間が始まります。芥川龍之助は、ある時自分が一生にどれ位の本が読めるかを計算しなければならぬ日本人独特の自然観や美意識を感じ一枝一葉にも風情風趣といった繊細微妙な感覚を求め、自然に対する鋭い観察や深い愛情でより美しく自然

わずかに数千冊にすぎない事を知って、大変失望したといえます。平均的な本一冊を三時間から五時間で読みあげるとすると多い人で一生に三万冊、少ない人で二千冊位です。あなたなら一生に何冊の本を読む事ができるでしょうか。町民図書館図書室では、県立図書館

館貸出文庫より、年三回、四カ月ごとに二百冊ずつの図書を借りていきます。9月に入替があつたばかりで、今回は、児童図書を中心に二百冊です。子どもさんと一度のぞいてみませんか。場所は町民会館の二階です。お待ちしています。TEL 28-4100。



仕事の疲れもなんのその、子供を引き連れ、ママさんはバレー、パパさんはソフトにと地域の輪を広げ、団結の絆を強めている。その力が一般女子バレー初の県体出場となり、バレー熱を一気に盛り上げ、長年のうっぶんを晴らしたが、12年前、青年女子が今のバレー熱の火つけ役となったことは知られていない。現在、黒土コーチ（役場勤務）を中心に、毎週水曜日赤池中で練習をしている。今はママさんパワーに押されているが、隠れた努力が青年女子県大出場の朗報を再びもたらしてくれるかもしれない。貴女の力を待っています。「初心者大歓迎」（年齢は18歳～30歳まで）

部落の歴史

○農民の分断政策

こわれるものになると恐れられた小倉藩の支配者たちは、住居を分けて「部落」を形成させ、百姓と部落の人々との交流と「共同体意識」を分断していきました。更に差別法令を出して、部落の人々を差別するばかりか、この法令に従わない者は、百姓、町人についても罰する方針をとり、封建支配にとつて都合のよい差別意識を、民衆に

前号までは「つくられた部落の歴史」「村をささえる被差別身分の役割」「部落の人々が果した生産労働の歴史」を掲載して来ましたが、今回は「小倉藩に於ける農民の分断政策について」述べたいと思います。村に部落民の農業専門業者をつくらせて行ったもの、この人々を村の百姓が仲良くなることは、身分のけじめがなくなり、ひいては封建支配の基盤である身分制度が、

一七二八年（享保13年）に小倉藩は、最初の差別法令を出し、そ

れから後、つぎつぎと差別法令を出し続けました。このような長い間の支配者による差別、分断政策の執拗さにもかかわらず、支配者の意図する「民衆分断による身分制度の確立」は思い通りに進んだわけではありませぬ。それだけ、百姓と部落の人々との間に、差別する理由や必要性が少なかったわけですね。しかし、だからと言って差別がなかつたわけではありません。長

い間強制されてきた差別的な生活習慣や差別法令の中で、結果的には百姓、町人は部落の人々を差別することや優越感をもつことに慣らされ、部落の人々もまた、差別に抵抗しつつも、これをはね返してしまいう程の力が出せないまま、ついに社会の中に「部落差別」意識が形成されていきました。こうして、新しい時代（明治時代）を迎えていくわけですが、支配者の都合でつくられた部落差別

むを得ず用いたものです。その点を十分認識の上、学習をより深めてください。以下次号へつづきます。今月の解放講座 とき 10月26日（水曜日） 午後7時30分から ところ 同和対策中央研修所 自己をみつめ、暮しを高める解放講座へ、是非どうぞ。

「地球人の大運動会」12

年ぶり東西百60カ国から1万3千5百人が参加し、東京大会以来、二度目のアジアでのオリンピックがソウルで開催された。歴史を重ねるに従って参加国が増増し、各国間のメダル競争も激化、いすぎた勝利主義が重苦しい事態を招いたのも事実だ。こんな時の流れに押し流され「参加する事に意義がある」の、オリンピック精神が失なわれているのは、さびしいことだ。スポーツの祭典オリンピック、体力の限界に挑戦し真剣な眼差で競技する姿は、世界の人々に美しい感動をよびおこす。険しい道は避けがちな我々に日常の歩む勇気を与えてくれる。そこが世界中の関心を一心に集めるゆえんである。7年前、ソウルでオリンピックが開催される事が決まって以来、これを機に韓国は世界の大国と肩を並べる為、国民が心を一つにし、このイベントを成功させようと、たゆまぬ努力を重ねてきた。そして、88・9・18華やかに世界の舞台上にデビューした。我が町も50周年を迎え、この秋さまざまなイベントを繰り広げる。オリンピック程の華やかさはないが、地味な中に何かを伝えたい。「赤池町」にこだわってほしい。まず、あなたに関心を持ってもらいたい。